



会 報

明石のぼうさい

編集発行/明石防火協会(明石市消防本部予防課内)
〒673-0044 明石市藤江924番地の8
TEL(078)918-5948 FAX(078)918-5983
ホームページアドレス: <http://www.akashi-bouka.jp/>

平成25年 明石市消防出初式

時間に休全体が冷えた状況の中、参加していた六〇名の工場部会の自衛消防隊員は、行進曲が会場に響き渡ると、たちまち意気揚々とし、活気に満ちた態勢となつて堂々と観閲位置へと行進して行きました。その後の式典は、例年どおり市民会館大ホールで、表彰授与式、市長挨拶、万歳三唱と続き、式典は終了しました。また、式典と並行して市民会館西側駐車場の二階において、アトラクションが催されました。消防車の試乗・放水体験・救助体験・写真撮影コーナー等の各ブースには親子連れの方を中心にたくさんの方がこられ、大盛況でした。最後に駐車場二階・市役所本庁舎北側において消防救助隊による演技、消防署・消防団による放水演習が行われました。



【表彰事業所は次のとおりです】
【防火管理優良事業所】
・医療法人社団弘成会 明海病院
・日新信用金庫本店
・朝日アルミニウム(株)
・危険物保安管理優良事業所
・阪口商店



平成二十五年一月十三日(日)午前九時四十五分から市役所周辺で明石市消防出初式が挙行されました。消防署・消防団の車両六十台を先頭に、消防吏員、消防団員、自衛消防隊員、婦人防火クラブ員、子ども消防隊員九〇八名が入場行進しました。この日は、厳しい寒さで吐く息も白く、行進までの間に体全体が冷えた状況の中、参加していた六〇名の工場部会の自衛消防隊員は、行進曲が会場に響き渡ると、たちまち意気揚々とし、活気に満ちた態勢となつて堂々と観閲位置へと行進して行きました。その後の式典は、例年どおり市民会館大ホールで、表彰授与式、市長挨拶、万歳三唱と続き、式典は終了しました。また、式典と並行して市民会館西側駐車場の二階において、アトラクションが催されました。消防車の試乗・放水体験・救助体験・写真撮影コーナー等の各ブースには親子連れの方を中心にたくさんの方がこられ、大盛況でした。最後に駐車場二階・市役所本庁舎北側において消防救助隊による演技、消防署・消防団による放水演習が行われました。

住宅防火 いのちを守る7つのポイント

■3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

■4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

平成24年 火災・救急の統計

平成24年中における明石市内で発生した火災・救急の概要がまとまりました。平成24年中の火災件数は85件、死者0名、負傷者12名となりました。

火災の概要

●前年度の比較(件数)

区 分	平成24年	平成23年
建 物	48	45
林 野	0	0
車 両	11	3
船 舶	0	2
その他	26	32
合 計	85	82

●出火原因(件数)

区 分	平成24年	平成23年
放火・放火の疑い	19	18
たばこ	6	1
こんろ	11	9
火遊び	5	5
ストーブ	5	1
配線	1	3
たき火	0	5
かまど・風呂釜	1	0
電気装置	3	3
火入れ	2	0
マッチ・ライター	4	0
焼却炉	1	0
衝撃の火花	1	0
その他	6	7
不明・調査中	20	30
合 計	85	82

救急の概要

●前年度の比較(出動件数)

区 分	平成24年	平成23年
急 病	7,186	7,128
一般負傷	1,771	1,744
交通事故	1,216	1,294
自損行為	152	193
加 害	89	105
労 災	69	57
火 災	54	59
運動競技	44	63
水 難	19	19
自然災害	2	2
そ の 他	1,364	1,416
合 計	11,966	12,080

火災件数は前年の82件から3件増加しました。火災による死者は0名で前年より2名減少し、39年ぶりに0名となりました。負傷者は12名で同じく前年から5名減少しています。出火原因で一番多いのは「放火・放火の疑い」を合わせての19件、次に「こんろ」(天ぷら、その他)を合わせての11件、次に「たばこ」の6件となりました。火災件数の中で建物火災を見ると防火対象物は35件で内訳は共同住宅16件、工場8件、雑居ビル8件、倉庫2件、飲食店2件、集会所1件となっています。主な出火原因は、「その他」7件、「放火」・「こんろ」が各5件、「放火の疑い」・「不明、調査中」が各3件となっています。救急出動件数は11,966件で前年より114件減少しました。事故種別で1番多いのは急病7,186件、次に一般負傷1,771件、交通事故1,216件となっています。

平成二十五年 春季火災予防運動

春季全国火災予防運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もつて火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的として毎年、消防記念日を最終とする一週間に実施しています。

防火標語 「消すまでは 出ない 行かない 離れない」

実施期間 平成二十五年 三月一日(金)～三月七日(木)

〔公開訓練〕 三月一日(金) 午前十時～十時三十分

イトーヨーカ堂明石店

実施要領

〔重点目標〕

- 住宅防火対策の推進
- 放火・放火の疑い・放火の防止対策の推進
- 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底

〔推進項目〕

- ①住宅防火対策の推進
 - ア 住宅用火災警報器の設置徹底
 - イ 及び適切な維持管理の周知
 - ウ 住宅用火災警報器の悪質な訪問販売や詐欺等に係る被害防止のための周知
 - エ 住宅用火災警報器をはじめとした住宅用火災機器等の普及促進
 - オ 消防団、婦人防火クラブ及び自主防災組織等と連携した広報・普及啓発活動の推進
- ②放火・放火の疑い・放火の防止対策の推進

編集雑感(後記)

今年度は、「いじめ」と「体罰」という言葉が毎日のように紙面を賑わせているように思います。教育界もスポーツ界も大きな転換期を迎えているようです。そこで感じたことが、関係者の後手後手の対応ではないでしょうか？広報の重要性和難しさをあらためて認識しました。何事も、つつみ隠さず、情報公開をしていくことが大切です。

- ア パチンコ店及び物品販売店舗等における放火・放火の防止対策の徹底
- イ 放火・放火の疑い・放火の防止対策の徹底
- ③特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- ア 防火管理体制の充実
- イ 避難施設等及び消防用設備等の維持管理の徹底
- ウ 防災物品の使用の徹底及び防災製品の使用の促進
- エ 防火対象物定期点検報告制度の周知徹底
- オ 違反のある防火対象物に対する是正指導の推進
- カ ホテル・旅館等における防火安全対策の徹底
- キ 個室ビデオ店等の個室型店舗における防火安全対策の徹底
- ク 高齢者や障がい者等が入居する小規模福祉施設における防火安全対策の徹底
- ケ 小規模雑居ビルにおける防火安全対策の徹底

平成24年度 防火ポスター展



明石防火協会賞
福田保育園園児 年長
岡澤 直生



明石市消防団賞
貴崎小学校 4年
宮階 宣全



明石市長賞
二見西小学校 6年
小西 一樹



明石市議会賞
大久保北中学校 1年
稲山 憂依乃



明石市消防団賞
清水小学校 2年
荻野 礼佳



明石市教育賞
高丘中学校 3年
南 真帆

防火協会の恒例の主催行事として火災予防運動啓発用防火ポスターの募集を呼びかけたところ、市内の園児から中学生まで五九一点の応募がありました。審査は、九月二十五日(火)に行われ、小谷副会長ほか五名の審査員により左記の方々が明石市長賞等ほかの特別賞に選出されました。

出初を写そう!! 写真コンテスト



「式典」武田 治



「消防団員」池田 正子



「初めての体験」中島 奉文



「狙い定めて エイッ!」都倉 重忠



「今日は僕達消防隊」山口 康博

作品の展示

期間:平成25年2月21日～
2月28日まで
場所:明石市役所2階ロビー

高度救助隊が発隊します

高度救助隊は、新潟中越地震等を契機に大規模かつ特殊な災害に対応すべく、平成十八年四月に中核市等に設置が義務付けられました。

明石市は、平成二十五年四月一日、兵庫県下において「中核市」以外で初めて高度救助隊を発隊します。兵庫県下では、四番目の発隊となります。

これまでの特別救助隊に比べ、高度な技術、知識を持つ隊員と資機材の配備が必要となり現在、特別救助隊二隊(本署・中崎分署)を配置していますが、そのうち消防署に配置する救助隊を高度救助隊として運用します。高度救助隊を配置することは、明石市民に対して最高水準の救助活動を約束することであり、その積極的な取り組みは明石市並びに消防に対する理解と信頼を深め、「安全・安心」して暮らせる「未来安心都市明石」の一翼を担うものとなります。

高度救助隊に必要な救助資機材の保有が義務付けられており①画像探索機(先端にCCDカメラ等を

装備し、倒壊した瓦礫等のわずかな隙間から挿入して、人命探索を行う装置)②地中音響探知機(生体からの音声及び反応音を探知し、人命探索を行う装置)③熱画像直視装置(生体の熱を感知し、人命探索を行う装置)④夜間用暗視装置(夜間・停電時においても鮮明に画像が確認できる装置)⑤地震警報機(身体では感知することが難しい地震の初期微動を感知し、救助隊員の安全確保を図る装置)

以上の資機材を積載し、特殊かつ困難な災害現場において中心的役割を果たすことになります。

今後の高度救助隊の活躍を期待して下さい。



工場・危険物部会合同視察研修

工場部会と危険物部会の合同による視察研修が平成二十四年十一月十八日に実施されました。朝比奈危険物部会長・森岡工場副部会長以下二十七名の部会員の方が公務ご多忙の中参加されました。今回の視察研修先は神戸市にあるティー・エム・ターミナル(株)神戸事業所です。

当事業所は、神戸市東灘区の湾岸部に位置し、LPG・石油製品及び石油化学製品等の保管、受け払い業務並びに品質管理業務、また、タンカー・ローリー・トラック等の輸送手配業務を行っております。到着後、研修室においてタンクターミナルビジネスについての説明を受けた後、防災・保安体制について研修しました。保安・防災機能の推進を図る事を目的として、毎年大規模災害対策委員会を一月に開催、防災知識の共有、防災訓練の実施状況とその問題点、改善点等の議論を行い、防災に係る認識の共有化に努められています。またこの委員会の開催により、防災訓練・設備改善計画・防災資器材の充実等へ活かされている他、大規模地震を想定した総合防災訓練を実施し、その成果が得られています。

次に構内を案内していただき、大型化学高所放水車・泡消火設備・棧橋固定消火設備・海上防除資機材等の防災資機材を見学しました。当事業所は危険物タンク・高圧ガス施設を多数設置しており、施設の安全運営について努力されていることがよくわかりました。

東南海地震等の発生が危惧されている中、沿岸部において危険物等を貯蔵・取り扱う事業所においては、火災・漏洩・海上流出等を想定した対策がますます重要になってくると感じました。

